

刊夕日一月三



定価 一部金五元... 月刊五拾銭 郵費五元... 發行所 常磐寺日新聞社

### 聖観音の威神力 (一)

眞 繼 雲 山

西國廿一番の札所に丹波穴太寺といふのがある。この靈場でも、それが形を示してこの世にあらはれ、衆生に尊信されるやうになるまでには、必ずそれだけの縁起といふものがある。

人皇六十二代村上天皇の御宇に、穴太寺のある南桑田郡曾我部村に宇治宮成といふ男があつた。本人はもと破戒無慚の無信者であつたが、その女房は打つて變つた慈悲柔順な佛法信者であつた。そこで、どうかして良夫を信心に導きたいと思ふて、穴太寺に観音尊像を寄進することをすゝめた。佛縁が熟してゐたものと見えて、亭主の宮成は、京都

### 高月會句抄 (三) (二月例會)

(かえ返る)

ぬきすてし胴着一枚かえ返る 胡生  
切り張りの刷毛を求めてかえ返る 城山  
ふき込みし板冷々とかえ返る 良亭  
かえ返る廊展りを煩冠り 天仙  
大樫の下冷々とかえ返る 良亭  
友の計を聞えて心中さえ返る 胡生  
さえ返る門に佇すむ影法師 閑月

### 井 三

### 手切商品

番 八 四 三 二 電 平 三

音像の左脇に、昨日、感世に射た箭の矢が刺さつてをり、生々しい鮮血さへしたつてゐる。さすがの宮成も、あなやと驚いて試みに感世の元の居室をたづねて見ると、當人は何の變りもなく歸つてをり昨日賊に遭ふて無一物となつたので、兎も角も引き返へしたといふ話である。

### 外科 X 光線科

性病科 外科科

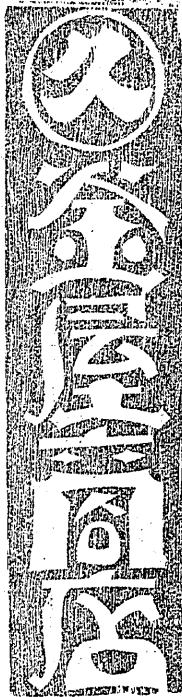
入院隨意

平町田町

安齊外科醫院

電話四七五番

磐城セメント會社特約店



磐城平町五丁目 電話九番九九番

良品廉賣に勝る商略なし

確實敏捷は 久の生命なり

花環 蓮華 造花 新らしく安い 靈柩自動車御用 町川新町平 屋本橋 番三六一話電

吉田眼科病院 平南町、電話六八番

冬の通學服 當店特製の黒小倉通學服を豊富に取揃へて御座います。長ツボン付 小學生用... 85錢、同(特製品)... 1.90錢、中學生用... 2.80錢、あかや洋服店 平三 電話203

井坂醫院 門 專 婦産科 花柳病科 入院應需 平町田町 電話五五九番

生徒募集 卒業は一ケ年 申込は四月八日迄 入学は無試験 平南町 平産婆學校 校長 清野キヨ 電話三〇七番

# 天人共に

## 感嘆の極み！ 壮烈な三勇士

### 感激の阿部氏弔慰金募集

久留米師團の爆弾粉碎工兵三勇士の壮烈な行爲は天人共に感嘆をく能はざる處であるが

平地方の人々も此舉に感激し何等かの方法に依つて此の勇士を生んだ遺族に酬えたいとの説が頻りである處から搔搥小路阿部政右衛門氏は  
卒先して 遺族の弔慰金を募り是れを陸軍省恤兵

# 救護調査委員

## 石城郡の任命

本年一月一日から實施された救護法に據る救護調査委員は縣社會課に於て昨日任命されたが石城郡各町村の委員氏名左記の如くである

- (小名濱町) 佐伯三郎 高木惣治 野崎昇太郎 堀越壽之輔
- (湯本町) 鈴木康平 比佐賢司 鯨岡賢司 岸清吾 村上六平
- (植田町) 長瀬米次 橋與治郎 内藤義茂
- (磐崎村) 若松總太郎 瀧德也 金成仙藏
- (四倉町) 花澤賢有 鈴木克哉 田中岩次郎

- (内郷村) 高原重吉 石橋弘毅 志賀留吉 大内民恵 田中宇一郎 宮本鐵太郎 齋藤清太郎
- (平町) 穴戸正勝 山崎清三 渡邊貫一 酒井國三郎 大森勇 薄葉巳之松 猪狩庄平 門傳清吾 高田清一郎 鈴木實雄 遠藤心光
- (勿来町) 杉浦啓殿 赤津一 渡邊梅五郎
- (江名町) 小松金重郎 馬目善四郎 遠藤與茂之丞
- 義勇機の寄附 石城郡湯本町青年團では國防義

勇機福島號建造寄附金募集中であつたが昨廿九日拾圓を縣へ發送した

## 實業補習

### 教育振興

石城實業補習教育振興會では来る九日午前十時より小名濱町小學校に於いて總會を開き豫算並に事業の報告をなすが終つて縣學務課の景山實業教育主事の講話ある筈

# 農業合理化

## 研究会を開催

### 郡農會が主催

石城郡農會では農家の産業合理化の普及の爲め来る十五日午前九時より同會樓上に於いて帝國農會岡田幹事を招聘し農業合理化研究会を開催するに就き郡下各町村に對し聴講者は三月十日迄に申込みれる様通牒を發したが當日の聴講者は左の資格を要すると

- △町村農會長の推薦者
- △町村農會役員
- △本會中堅農民講習會終了者及講習生

## 耳鼻咽喉科専門

# 大和田醫院

平町南町 電話一七〇

## 平町人事

### 回出生

- △八幡小路九袴塚豊治氏二女キヨ子
- △大工町廿六藤倉武雄氏長女幸子
- △新川町一 丹野幸之助氏二男 和二
- △白銀町一〇 石島徳長氏三男 武弘
- △死 亡
- △鍛冶町四當時東京府下北豊島郡三河島町二九一三吉田トメ子(壹つ)

# 市原醫院

平町田町 電話一一四番

## 誠に便利な

# 商用品券

何卒御利用下さい 電話二八六番

金額の多少に不拘調製致します

平町南町 鶏卵商鳥菊

# 藤沼醫院

平町紺屋町 電話七〇五番

内科 小兒科 花柳科

入院應需

# 高橋時計店

精幸堂 號 平町才樋小路

# 難波醫院

平町新川町 電話五〇二番

# 募 三勇士遺族の弔慰金

嗚呼忠勇無比の三勇士何ぞ其の壯烈なりしぞ鬼神も爲めに慟哭せむ。實に振古未曾有驚天動地の偉業にして人生を超越し洋の東西に冠絶す。古今英雄多しと雖も蓋し三勇士に如くものなからん宜なる哉其の心情英雄以上の英雄なり。今や同胞國を擧げて戦に赴かんとす誰か彼の三勇士に感激せざるものあらむ殊に目下外交は危機に瀕し東亞の風雲彌々急ならむとする秋、内は國民の士氣を鼓舞し外は國軍の威武を宣揚する誠三勇士に負ふ處甚だ大なるを痛感するなり。名將曰く「吾が皇國も三勇士ありて亡びず」と真に至言にして正に彼を弔ふ最大最高の弔辭なり。然り彼等三勇士こそ日本軍人の龜鑑にして大和民族發展の尊き犠牲者なり。吾人は彼等殉國の忠誠を永遠に紀念し併せて千古不磨の英靈を弔はん爲め彼の三勇士遺族へ薄志を餞け以て聊か勇士の靈を慰んとす 愛國の士奮つて賛せられんことを

## 主唱 阿部政右衛門 後援 常磐毎日新聞社

- 一、弔慰金一人金拾錢均一に願ひます
- 二、右弔慰金は平驛前九ツ阿部石炭店又は常磐毎日新聞社に御届を乞ふ
- 三、寄附者芳名を常磐毎日新聞紙上に掲載領收書に代ふ

### 寄附者芳名 第一回分

- |        |       |
|--------|-------|
| 阿部政右衛門 | 渡邊ト   |
| 同 さと子  | 五十嵐茂  |
| 同 卓造   | 郡司春喜  |
| 同 元彦   | 緑川長   |
| 同 順吉   | 同 比奈子 |
| 同 とし子  | 同 比奈子 |
| 同 正之   | 青木次男  |
| 同 幸次郎  | 石川武八  |
| 同 常代   | 青木次男  |
| 同 竹雄   | 村上清八  |
| 同 地竹   | 清水唯弘  |
| 同 邊リ   | 松本源吾  |
| 同 田ツウ  | 田村岩雄  |

### ハルピン兵營にて

## 神明の加護と

### 銃後の後援深謝

歩兵第三十聯隊本部  
陸軍砲兵一等銃工長 江尻進氏寄

拜啓 時下寒威凛烈將に骨を碎く候皆々様益々御壯健にて御繁榮の段慶賀奉存候降つて小兵神明の加護と銃後の皆々様の限りなき御後援の御蔭を以て

### 今日迄

微傷だに負はず頗る壯健にて微力もとり其器に御座無く候へ共及ばず乍ら報國の誠の一端なりと盡すべく軍務に精勵在罷候間他事乍ら御放念被下度候備今度は貴町各種團體の方々に小兵等の身上を思はせられて

### 御多忙

中の折にも拘はらず種々御配慮の上多大の慰問金を御贈與被下候段皆々様の御厚志を偲ひ小兵唯々感涙に咽ぶの外無之候事もとより國家の危急存亡の折殊に小兵の如く軍籍に身を置く者に取りては當然過ぎる程當然の義務にして寧ろ小兵一死以て

### 國恩に

報ゆるの機會を得たるを欣び居る次第に御座候然るに御懇情限りなき町民各位には小兵等の行動を以て直ちに國難に殉ずるものとしてかくまで御配慮を相煩はし候事を思ひ流

露國風の宏壯な建築物軒をならべ行人亦露人を主とする爲か必々異國に有るの感有之候征戦已に數ヶ月異國の兵營の窓に洩る青白い月光を見てはそゞろ感慨無量のもの有之候時局益々多端の折小兵いよ勇躍以て奉公の誠を盡さばやと覺悟致居り候へ共

尙一層 町民各位の御援助と御鞭撻を伏して御願申上候先は右町村各位の御厚志に感謝の意を表し併せて今後の御聲援を賜り度く奉願願候戰場混雜の折不文の段平に御寛容願上候敬具

### 尙一層

### 御承知

### 赤井嶽瀧不動の

### 寄附金を着服

事務所に忍入しては

### 白米を盗む

石城郡好間村大字北好間字久保居住木村直信(三)は昨年十二月同村の小川三郎より赤井嶽の瀧不動尊拜殿修築寄附金の募集方を依頼され同村北好間熊谷テツ外四十餘名より五十圓の寄附金を集めて全部着服費消し去る廿八日午前十時頃前記瀧不動事務所の臺所に忍び入り白米二升其他を窃取自宅に持ち歸つた事發覺昨廿九日平署に檢舉された

断を左の日割にて行ふと  
△三日 永戸村(合戸、淺矢) △四日 同村(上下永井) △五日 箕輪村

### 回轉式油繪の

## パノラマ

### 陸軍省の出品

### 昭和博へ目録

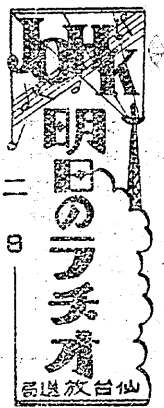
昨日陸軍省より昭和産業博覽會に到着した出品目録に依ると左記の如く

- △千軒投下爆彈模型 一
- △三百軒投下 同
- △航空兵器寫眞及航空被服

### 牝馬の

### 健康診断

石城郡産馬組合では本年度に於ける蕃殖牝馬の健康診



明日のラヂオ

今晚も明日も北西の風晴れ

### 今晚の部

- 後六、〇〇(子供の時間) 子供音楽會「東北音楽院」(伸萌會)
- 後七、三〇(時事講座)「最近滿洲の交通事情を視察して」國際運輸株式會社 長中野金五郎
- 後八、〇〇(連環談話)「花川戸助六」終席 田邊南龍
- 後八、三〇(映畫物語)「鐵毒物標本に依る中毒模型、毒物の平時用途一覽表等地

- の男北」壁原英太郎
- 後八、五〇(管絃樂とジャズ)世界觀光船エンプレス オブブリテン 乗組オーケストラ
- 後九、三〇(奉天より) 氣象通報 番組豫告

### 明日の部

- 前一、三〇(家庭講座)「家計簿記」(三)大原信徳
- 後〇、〇〇(落語)一夜逃げ長屋」柳亭魚樂
- 後二、〇〇(家庭大學講座)「佛教の常識」(六)駒澤大學教授 山上曹源
- 後五、三〇(エスベラント講座)「國際語の歴史とエスベラント」鈴木博
- 後六、〇〇(子供の時間) お話「やさしい折紙」中澤種二
- 後七、三〇(講演)「滿蒙と農業移民」京大教授農學博士橋本傳左衛門
- 後八、〇〇(ラヂオ風景)「珍妙座談會」柳永二郎外
- 後九、三〇(奉天より)

## 牛太郎の悪事

### 遊客の金を横領

### 飲食店をたまたす

平町五色町豆樓事長谷川徳代方番頭栃木縣宇都宮市旭町三丁目生れ早川春吉(四)は去月二十日夜登樓した客が置忘れて行つた現金十八圓餘在中の墓口を發見横領した外廿六日午前四時頃下河原の飲食菊地兵藏方にて五圓の飲酒をなし持合せが無いので所持して居た四圓記入の貯金通帳を抵當に置いたが翌日再び来て局から引出して來ると受取り其の儘行衛を晦してしまつた事發覺平署にて行衛嚴探中

### 建碑成る

### 果樹栽培功勞

石城郡大野村山田小港果樹組合では同村の果樹として桃櫻桃等の栽培開始者である木村國藏氏の功勞を記念する爲め同氏の頌德碑を同字に建設中であつたが此の程竣工来る十日午前十時より盛大な除幕式舉行すると

### 看護婦急派

### の求めに應

じます

平町南町

### 平看護婦會

電話三〇七番

### 献金

### 愛國號へ

平町四丁目青年分團では國

### 平職業紹介所報告

求人部

△賣子 三十歳前後 尋卒

△雜夫 三十歳前後 委細

△出前持 廿歳前後 尋卒

△給料面談(平町某) 尋卒

△雜役 廿五歳迄 尋卒以上 月十圓位(小名濱町某海産物店)

△求職の部

△雜夫 三十歳 尋卒 給料面談(平町某)

△行商 三十一歳 尋卒 給料面談(平町某)

△製板工場 卅二歳 尋四 修給料面談(平町某)

△外交員 廿九歳 早稻田 専門部半途 給料面談(好間村某)

# 小説 七重塔

(百六十五)

渡邊 默禪 作  
布施 平八郎 畫

【載轉禁】

ほととぎす (9)

外のお客を取扱ふやうに自分の自由にはならなかつた。何といふことなしに気がひけてかう言はうと思つたことさへも満足に口へ打出すことが出来ぬ程に、自分の心も休も柔順に男に支配されてゐた。外の男なら目にかど立てゝ食つて蒐らずには置けないやうな憎まれ口を云はれても、黙つてそして笑つて聞き流した。

さからうことが一つの罪悪でもあるかのやうに思つてゐる意氣地のない自分を男と差し向ひになつてゐる時に見出しては我ながら不思議に感じてゐるくらゐだつた。今宵もさうである。

どうしてあの時に男の癖みかどれるまでよく言ひ聞かして曇らない自分の心を明に見せてやらなかつたのか、怒らして了つてから慌てゝ止めるやうな素人染たことをしたのは、腕がないと言はれても仕方がない……とこゝろ思ふと口惜しくつて堪まらなかつた。

『くだらないことが氣に障つたんです。つまり僻みですのよ。女将さんあんなになつたもんですから、私に愛想をつかされたらちのち……』



薄ッ氣味悪い事を言ふんですもの……『お氣毒ねえほんとうに……あれほどの大家の若旦那がさ、隠れるやうにして私の家へ……實際涙がこぼれたのを歌ちやんあの様子を見るとねえいかにも……』よく二人の仲の事情を知つた女将は心からの同情に鼻をつまらして然う言つた。それにそゝれて又眼のうちの暗くなつた歌治は、涙を隠して淋しく笑ひながら

『仕方ありませんわ。心からですもの……女将さん濟みません熱いのを一本頂ら主と背中合せの痴和喧嘩ゆるしやしやんせと振向いて、寄せる枕の二つ絞の先が娛みたわよ、ちよいと』

からかはれる様な果敢ない慰なめ……併しそれは歌治にとつて嬉しくはなかつた希望をとり去られた味氣ない心は利鎌に刈られた青草の夏の陽なたへ投げられたやうに只ちりちりとしほれかゝつた。女将の立去つた跡でじつと考へてゐると横飛沫が霧のやうに吹きあげてゐる夜ふけの雨のなかを破れた番傘をかきしてとぼとぼと歩いてゆく源之助の濡れそぼられた姿が目についた……玄關先に見すばらしく列んでゐたあのへちやこになつた山桐の下駄を突かけて、びちん／＼と水溜を蹴あげゆく男の後姿が……雨は一際ひと／＼と降つてつゝた。何處でか闇を裂いて郭公が啼く。

美ましいやうな御馳走様な話ね。誰でもあゝなつちまふと僻みが出るものと見えるね、然うでもない事を疑つたりなんかして『え。然うなのよ、女将さん、皆な俺の仇敵だ、悪魔だ、狼だ寄つて群つて寤めぬいて、骨ごとなめるんだなんて、

戴な、私ぐつと引つかけて歸りますから』『暴酒かい癪にならうとエ、儘の皮口舌の後の筒茶碗……こなたさまだつてまんざら覺のないことぢやないわよホ、手伸ばして呼鈴を押しながら』でも又遇へるかい、ね。夢、口舌に何や

ら主と背中合せの痴和喧嘩ゆるしやしやんせと振向いて、寄せる枕の二つ絞の先が娛みたわよ、ちよいと』からかはれる様な果敢ない慰なめ……併しそれは歌治にとつて嬉しくはなかつた希望をとり去られた味氣ない心は利鎌に刈られた青草の夏の陽なたへ投げられたやうに只ちりちりとしほれかゝつた。女将の立去つた跡でじつと考へてゐると横飛沫が霧のやうに吹きあげてゐる夜ふけの雨のなかを破れた番傘をかきしてとぼとぼと歩いてゆく源之助の濡れそぼられた姿が目についた……玄關先に見すばらしく列んでゐたあのへちやこになつた山桐の下駄を突かけて、びちん／＼と水溜を蹴あげゆく男の後姿が……雨は一際ひと／＼と降つてつゝた。何處でか闇を裂いて郭公が啼く。

## 大塚の 學生靴!!!

耐久新製品  
編上靴 六・〇〇  
半靴 五・〇〇

不安心なるキカイ靴より、安心得る弊店の靴を……

大塚支店製靴部  
電話七七番

## 貸切の●●●

御用命は?  
獅子吼(四四九)ノ勢デ  
眞先ニ……(マツサキ)  
三九ニタクシーへ!!!

## 美味! 芳醇!

# 宗正らひた

山崎合名會社  
電話一〇番

## 度量衡、計量器、吸入器、酸素吸入器

# 關内藥局

電話四〇番

セメント 壁用材料  
コールタール  
ペンキ塗料  
板ガラス

磐城セメント株式會社  
代理店 西村屋藥舖  
平町二丁目「電三」

## 時計眼鏡

トキワヤ  
平一・電三三九

## 梅毒 淋病

皮膚病 婦人病 腸胃病  
門專  
十二指 腸虫病

松村 院醫科  
町南平  
〇七一話電